

幼児教育方法論 ルーブリック

評価項目	A	B	C	D
これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法を理解することができる。D	教育の方法を深く理解し、新たな視点等を踏まえ、論理的に説明できる。	教育の方法を理解し、具体的に説明できる。	教育の方法をある程度理解している。	教育の方法の理解が不十分である。
子ども理解、幼児教育の目標、幼児教育の基本、保育のねらい・内容、指導方法論等、幼児を指導するにあたっての基本知識を包括的に習得することができる。C-1	幼児を指導するにあたっての幼児教育の知識を包括的に深く習得し、論理的に説明することができる。	幼児を指導するにあたっての幼児教育の基本知識を包括的に習得し、具体的に説明することができる。	幼児を指導するにあたっての幼児教育の基本知識をある程度習得している。	幼児を指導するにあたっての幼児教育の基本知識の習得が不十分である。
教育の目的に適した指導技術を理解し、身に付けることができる。D	教育の目的に適した指導技術を深く理解し、臨機応変に活用することができる。	教育の目的に適した指導技術を理解し、適切に活用することができる。	教育の目的に適した指導技術をある程度理解し、活用することができる。	教育の目的に適した指導技術の理解が不十分である。
情報機器を活用した効果的な幼児教育や適切な教材の作成・活用に関する基礎的な能力を身に付けることができる。D	情報機器を活用した効果的・創造的な幼児教育や子どもの発達に応じた教材の作成・活用ができる。	情報機器を活用した効果的な幼児教育や適切な教材の作成・活用ができる。	情報機器を活用した幼児教育や教材の作成・活用がある程度できる。	情報機器を活用した幼児教育や教材の作成・活用が不十分である。
モデル指導案の作成・模擬保育・実践に関する評価の基礎を身に付けることができる。D	モデル指導案の作成・模擬保育・実践に関する詳細な評価や説明ができる。	モデル指導案の作成・模擬保育・実践に関する基礎的な評価や説明ができる。	モデル指導案の作成・模擬保育・実践に関する基礎的な評価がある程度できる。	モデル指導案の作成・模擬保育・実践に関する基礎的な評価の理解が不十分である。